

「警察に通報」の利点として、県警では、一方通信、遅延通信の特性を持たず、通報者には、通信指令センターから直ちに送られてくる指示などを見ることで応急処置に何をすればいいのかなど、被害拡大の危険回避を可能としています。このDLメールの普及、啓発そしてレスポンスタイム縮減にどのような効果が出ているか警察本部長にお伺いします。

(警察本部長)

平成14年11月1日から15年10月までの受理した件数はわずか9件です。ただし、現在までに実に4600件余りのアクセスがあり、これらの多くはブックマークへの登録のためのものと思われるので今後期待が出来ます。

「県民の皆さん、県警のホームページもしくは、お電話でご確認していただき是非、お知らせ下さい。」

高知県警ホームページ

<http://www.i-kochi.or.jp/hp/kenkei/>



平成14年のレスポンスタイムの全国平均は、7分2秒、本県は7分58秒で、前年比で5秒短縮されております。一番大きな問題は通報場所や事案発生場所の特定が非常に難しいと云うことであります。難しいという意味は、通報者自体が大変動転しているということもありまして、なかなかその場所の特定に時間を取るというのが現状です。

(高野光二郎)

二つ目に、事件や事故が起きた場合に、通報者が発生場所、所在場所を適切に警察に説明することが、レスポンスタイム縮減にもつながると思います。私は、以前から思っていました、高知県は場所の表示が余りにも少なすぎると思います。他県では、主な交差点の信号機の下に、地域名や地区名の表示板が設置しており、地図上にも明記されています。南海大地震への防災対策、県民のみならず、観光客にとっても有効な目印になると思います。土木部長のお考えをお伺いします。

(土木部長)

信号機に取り付けております交差点の地名等の表示は、直轄国道の場合、これまでに高知市周辺の主要な交差点に、およそ80基が設置されています。表示内容や設置のルールについて他の道路管理者や公安委員会とも調整した上で、今後も出来るだけ対応して行く予定だと思っています。県におきましても、交差点での表示は緊急時の場所特定や地理に不案内な方々にも有効な方法と認識しております。今後は、関係機関との調整を取りながら、整備について検討して行きたいと思っております。



中央省庁にて21県政会、県の要望活動

「高知県での信号機の数は、およそ1600基中の地名表示は80基では少なすぎます。所管が国道、県道、市町村道で国、県、市町村で分けられていますが、早期の整備を望みます。」



雨にも負けず、県民に県政報告

《教育に関して》

(高野光二郎)

1 三年ぶりに復活した、本年10月11日から始まるプロ野球に2軍の試合「よさこいリーグ」に課外授業や遠足として、県内の園児から高校生を試合観戦を教育長から発案し学校単位で実施できないか。生徒側は、レベルの高いアスリートと触れ合いを持ち、プロの雰囲気や身近に肌で感じることもできる良い機会です。球団や選手からすれば、観客が多いほうがモチベーションの向上に繋がりますし、来年以降も高知で継続してくれる良いイメージアップになると思いますが、教育長のお考えをお伺いします。

(教育長)

学校教育活動は、それぞれの学校でその内容やスケジュールがあらかじめ計画的に決定されておりまして、今回は時間的には非常に厳しいですが、可能な情報網をフルに使って情報提供やPRをしていきます。

(高野光二郎)

2 私は、教育が成立する条件の中で、教える側と教わる側が人格、知識、経験の点で格段の差が必要であると考えます。既にアメリカやヨーロッパや韓国、台湾、そして日本の一部の大学でも導入している。教わる側の生徒が、先生を評価するシステム「学習者評価」についてお伺いします。

例えば

- 先生が生徒の能力を引き出す力があるかどうか。
 - クラスを運営するリーダーシップがあるか。
 - 説明が簡潔かつ明確であるか。
 - 教科書以外の知識を教えられているかどうか。
 - 生徒個人を把握し、問題を対処でなく、解決がなされているか。
- などその内容は、検討することが大切だが、教職員自身の自己研鑽、責任の所在が明確になり、不祥事など事前対策、教職員への指導などが望め、個人情報保護の観点も重要ですが、さらにある程度公表することにより、各学校間や地域に開かれた学校づくりに即効性のある効果が望めると思いますが「学習者評価」の取り入れについてのお考えを教育長にお伺いします。

(教育長)

教員の職業能力を評価、育成して行く上で、児童や生徒の声を評価に反映することや評価結果を公表することは、大変重要な視点だと思っております。現在検討中の新しい人事評価制度に有効的に結びつけて、教職員一人一人を総合的に評価するシステムにして行きたいと考えております。

「総合的」？責任の所在の明確化が必要だと思うけど



平成15年9月定例議会一般質問（結びの挨拶と訴え）

最後に、浅学非才の私なりに改革に対して、幾つかの提案させていただきました。教育に関しては、教職員のあり方に質問が集中致しましたが、決して教職員だけに問題を責任転嫁するのではなく、議論は必要ですがこれらの事は県が「本気でやる」と言う気持ちになれば即行動、実施ができると思います。教育だけでなく、県の政策を県民とつくり、行政と政治がしっかりと責任を持ち、一定の指導力をもって積極的に挑戦する行政を私は強く望みます。改革を実施した場合、失敗時の想定、対

処策は当然必要ですが、失敗を恐れずまず挑戦し「失敗は成功のもと」固定観念や前例に捕らわれず、多くの情報を収集し、議論を重ね、前向きで実行力のある県政。それを実現するために私も微力ですが、41分の1として分子を増やすように努力し、県民と知事と職員のみならず、それぞれからヒーローが出るくらい明るく前向きで懸命な改革が出来るように、自身の努力と研鑽をお約束し、私の質問を終わらせて頂きます。